

四年下	単元	氏名	年組番
慣用語		3問	

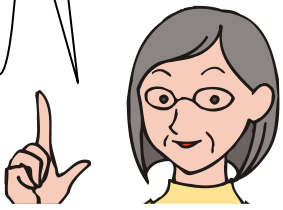
慣用語について

慣用語とは、昔から、生活の中で使いならされていた言葉です。  
例えば、

「火花を散らす」

という慣用語があります。実さいには火花は散っていませんが、「たがいはげしく争う」という意味で使われています。  
慣用語は、いくつかの言葉が組み合わせられて、新しい意味をもつようになった決まり文句で、次のようになか間に分けることができます。

体と心：頭をひねる・心がおどる  
動物：借りてきたねこ・虫の知らせ  
植物：うり二つ・実を結ぶ  
かたかな：エンジンがかかる・メスを入れる



慣用語は、国語辞典で調べることができます。調べてみましょう。

慣用語 ( )	〈分類〉 体と心 動物 植物 かたかな その他
	〈意味〉
	〈使い方〉



四年下	単元	氏名	年組番
慣用句			
			7問

1 次の慣用句の意味を調べて、短い文をつくりましょう。

〈例〉おねを打つ

彼の勇気ある行いは、人びとのおねを打った。

(1) 足が出る。

〈意味〉

〈文〉

(2) 三日ぼうず

〈意味〉

〈文〉

2 ( ) に生きものの名前を入れて、慣用句を完成させましょう。

(1) ( ) のなみだほどのお金。

(2) ( ) のなくような声。

(3) 先生の ( ) ( ) の一声で、会場はしずまった。